

UNIRITA

Magazine

ユニリタマガジン

11

2018

新ビジネスコラム

ユニリタが農業をはじめました

～ユニリタが創る農業の未来～

製品&サービス最新トピック

データ連携機能を強化し、
業務部門でさらに使いやすくなった
MyQuery Ver1.2の紹介

システム管理者の会

第9回NIPPON ITチャリティ駅伝に協賛
「おつかレー様」を紹介します

UNIRITAユーザ会

UNIRITAユーザシンポジウム開催決定!

パートナー様ご紹介

キャノン ITソリューションズ株式会社
システム開発現場と業務現場をトータルにサポート
超高速開発 / ローコード開発「Web Performer」

ユニリタ
イメージキャラクター
ホラン千秋

ユニリタが農業をはじめました

～ユニリタが創る農業の未来～

日本の農業課題を解決する大きな転換期を迎える中、私たちユニリタが、新しいIT技術を使った「スマート農業」の開発をスタートしました。ユニリタは、データ活用とシステム運用の自動化技術に加え、路線バス支援事業で培った位置情報や、AI、IoT、ビッグデータ活用のノウハウを保有しています。また、農業に高い専門性を持つ銀座農園株式会社と技術提携を行うなど、農業ビジネスに積極的に参画しています。私たちは、これまでの農業プレイヤーとは違う、“ユニーク”な発想と“利他”の精神で、「Create the Future for Agriculture」をスローガンに、日本の農業の未来を創ります。



日本の農業における課題

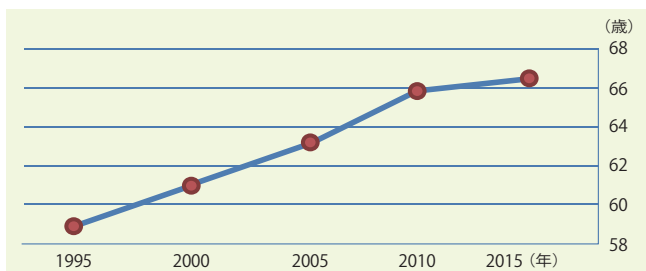
日本の農業における最大の課題は就農人口の減少です。ここ30年で就農人口は、500万人から200万人に減少しており、衰退化しているといつてよいでしょう。

大きな原因は、就農者の高齢化と経営農家の後継者不足による離農や、若年層の新就農者不足にあるといわれています。

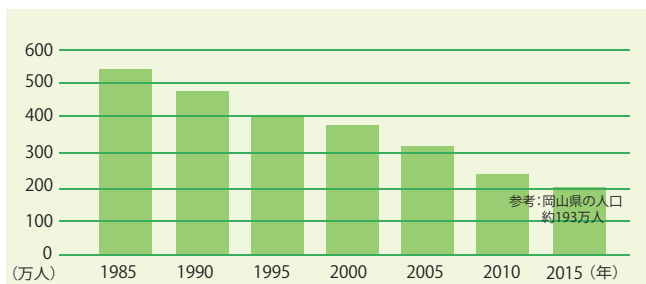
日本の農業の実態は、多くが家族経営で効率的な経営管理ができておらず、危険をともなう作業もあり、休みも少なく長時間労働です。このような過酷な労働条件にもかかわらず収入は低く、若者を引き付ける魅力に欠ける環境にあります。

減り続ける日本の就農人口

就農者の平均年齢



就農人口の推移



引用: 農林業センサス、農業構造動態調査 (農林水産省統計部)、2015年

農作業の現状

農作物作りは、気まぐれな天候を相手にした重労働できつく厳しいビジネスです。人が環境を制御することは容易ではなく、安定して高品質の農作物を作り続けることはまさに匠の域にあります。

・ 勘と経験

農家には長年書き溜められた手書きの農作業日誌があります。その日誌のデータはうまく活用されておらず、農作業は「勘と経験」によって徒弟制度的に行われていることは珍しくありません。家族経営が多いこともあり、マニュアルも整備されていません。また、なぜその作業を行うのか?の質問には、「昔からやっているから…」との答えが返って来ることも珍しくありません。勘と経験の農業から、データに基づく新しい戦略的農業に変わる必要があります。

・ 労働集約型で重労働

農作業には、草刈りや農薬散布、肥料散布があり、常に機械を動かす人手が発生します。草刈り機による事故や、農薬被ばくも大きな問題になっています。収穫作業は多くの人手が必要で、長時間にわたる作業は高齢者の足腰の負担を大きくしています。このような厳しい労働環境を改善するために、収穫用ロボットや自律走行の農作業機械の導入などにより、安全で負担の少ない農作業環境作りが必要です。

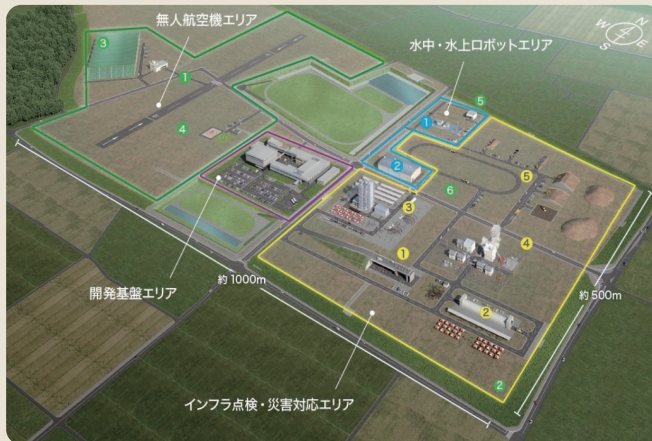
ユニリタが創る農業の未来

IoTとAIは農業の未来を大きく変える農業革命の要です。さまざまなセンサーやカメラ、通信機器が安く小さくなり、莫大な農業データを集め、分析し、活用することが容易になりました。

ロボット開発においては、自律走行を実現するさまざまなセンサーやオープンソースソフトウェアが存在し、私たちのようなソフトウェアメーカーでも低価格の農業ロボットを製造することが可能になりました。

ロボットテストフィールドで開発・実証実験

自律走行ロボット



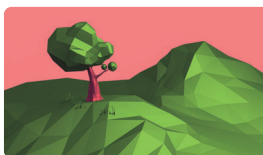
監視、センシング



収穫ロボット(マニピュレータ)



3Dバーチャル畑



IoT手袋



・センサーによるデータ収集と活用

例えば、私たちが提携している梨農家の収穫量は、農家ごとに大きな差があります。味や品質、肥料、農薬、水の量、作業量、病気の発生率も明らかに差があります。しかし、各農家はデータの価値に気が付いておらず、データを収集し改善に役立てることができていません。



私たちが開発した農業データ収集機器と、クラウド上にあるユニタデータ分析プラットフォームは、AIによる分析サービスを提供します。これまでの勘と経験の農業は戦略的農業に大きく変わります。今後、農作物監視カメラ、IoT手袋、3Dバーチャル畑などが続々と開発されることで、収集可能なデータの種類が増え、戦略的な対策も増えていきます。

また、収集したデータは農機具メーカー、肥料メーカー、農業メーカー、さまざまなサプライヤーの商品開発に重要です。食品一や外食、スーパーも安心・安全な農作物を探しており、これらのデータを必要としています。金融機関は効率化経営する優良な農家を支援したいと考えています。経験の浅い新就農者も、ベテランの農業指導員もこれらのデータを活用したいと思うでしょう。農業のデータは無限の可能性を秘めています。

・ロボットによる自動化

トラクターやコンバイン機の自動走行機が大手農機メーカーから販売されはじまりましたが驚くほど高額です。ドローンによる農薬散布も実現していますが、価格や規制など、課題は山積みです。課題を解決するためには、価格破壊の新しいプレーヤーが必要です。

私たちは、既存の草刈り機や、農薬散布機、運搬機を低価格で自律走行させるソフトウェアとハードウェアを開発します。また、果樹収穫のロボットの開発にも着手します。人手のかかる作業を自動化することで、農作業の省力化・少人数化を実現します。

経済産業省のプロジェクト参画について

私たちと銀座農園株式会社は、経済産業省の推進する「福島イノベーション・コースト構想」の一環であるプロジェクトに参画しています。福島イノベーション・コースト構想とは、福島県浜通りにおいて、失われた産業基盤を再構築し、新たな町造りを進めるための構想(上図を参照)です。

高齢農家が多い福島県を支援するために、AIによる果樹農業データプラットフォームを構築し、リモートセンシングによる車両系農業ロボット(ドローン・クローラー)およびマニピュレータ系農業ロボットの実用化開発を行うことで、少人数でも大規模経営が実現できる果樹の農業ロボットソリューションを開発します。



GINZA FARM

銀座農園株式会社は、農業者の販売利益を最大化する流通プラットフォーム「マルシェ」を展開しながら、農業者が持つ農業技術をICTで可視化して、農地の調整から資金調達、栽培、流通、販売までの一連のプロセスをパッケージ化した農業システムを全国の企業などに販売しています。

農業の未来に向けて

農業は、今後の改革次第では自動車産業以上のGDP4%を稼ぎ出す、驚くほど大きな成長の可能性を秘めています。畑をドローンが監視し、ロボットが野菜を収穫し、朝になったら農作物の発送が完了している・・・、そんな風景を想像してみてください。ITを活用した「スマート農業」は、地方を元気にし、若者に人気の仕事になっているでしょう。

それはもう少し先の話だとしても、私たちがお手伝いをした農家の野菜や果物が、皆さんの食卓に並ぶのは、そう遠い話ではありません。

ユニタが創る農業の未来に、ぜひご期待ください。

担当者紹介



オープンイノベーションセンター
農業SaaS グループリーダー
西川 真弥

データ連携機能を強化し、業務部門でさらに使いやすくなった MyQuery Ver1.2の紹介 (2018年11月リリース予定)

「MyQuery」は、業務部門の方が専門的な知識がなくてもビジネスに必要なデータを素早く簡単に抽出できるデータ活用プラットフォームです。社内のさまざまなデータベースへアクセスし、必要な人が必要なタイミングで簡単にデータを抽出・活用することで、「現場力の高い」職場環境を実現します。

11月にリリースされるVer1.2では、使いやすさをよりアップし、Excelや他システムへのデータ連携をスピーディーに行えるよう機能を強化しました。

スピーディーなデータ連携で 業務効率を大幅アップ!

●Excel連携機能

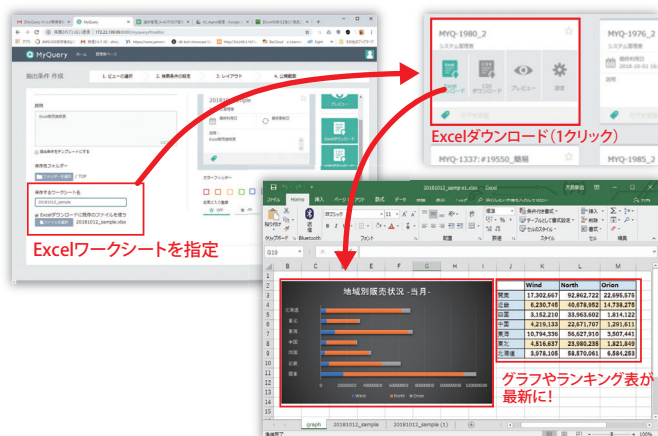
今回のバージョンアップでは、業務部門の業務効率化を図るためにExcelへの連携機能を強化しました。

業務部門の定型レポート作成の場面において、Excelはまだまだ利用頻度の高いツールです。例えば、データベースにあるデータを取得し、Excelでデータ集計やグラフ、ランキング表などに加工して会議資料を作成する業務が多々あるかと思えます。

従来のバージョンでは、抽出結果をExcelファイルに出力することはできましたが、その後、利用者が抽出結果をもとにグラフや罫線などの加工処理を行っていました。

「MyQuery」の最新バージョンでは、事前にグラフなどが定義されたExcelファイルを指定することで、グラフやランキング表が最新データに更新されたExcelファイルをダウンロードできます。

週次・月次で作成するExcelベースの定型レポートを1クリックで作成でき、業務担当者の作業効率を大幅に向上します。



●CSV書式設定

近年では、業務のクラウドサービス利用により社内のアプリケーションや業務システム以外にもデータ連携が必要になってきています。

あるシステムからデータを出力し、取込先のシステムにデータを入力する作業の中でCSVファイルは多く用いられますが、取込先システムの書式でデータを出力しないとスムーズなデータ連携ができず、最悪の場合は業務に支障をきたすことになります。

「MyQuery」の最新バージョンでは、右記のCSV書式設定により取込先システムの書式に合わせたCSVファイル出力が可能になり、スムーズなデータ連携に役立ちます。

CSV書式設定

区切り文字の指定
囲み文字の指定
改行コードの指定
空白の切り捨て指定

使いやすさアップ!

この他にも現場の業務効率向上を支援するために、次のような改善が行われています。

●キャンセル機能

データ抽出処理を途中でキャンセルできるようになりました。データ抽出を行う際に誤った条件で意図しない要求を送ってしまった場合、利用者が途中で中止できるので、無駄な処理が実行されずシステム負荷が軽減されます。

●システム変数

前年当年実績や部門集計などデータ活用のシーンでよく使う比較項目をシステム変数で設定できるようになりました。

比較する値を指定する際、用意した変数を使って効率よくデータ比較が行えます。

データ比較のためのシステム変数

ユーザー ID
ユーザー名
組織ID
組織名
本年
本月
本日

●Oracleヒント句の指定

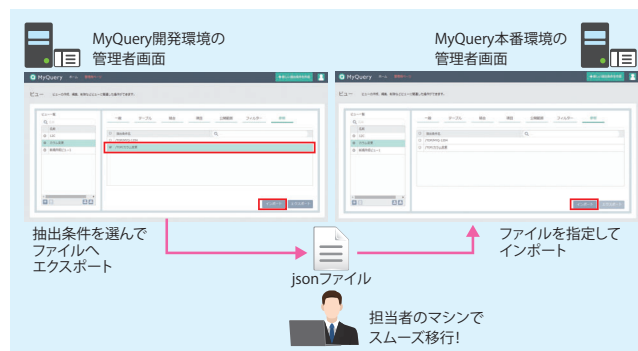
抽出条件のSQL文にOracleのヒント句を指定することができるようになりました。

Oracleに対する効率的なクエリ実行が可能になります。

●抽出条件のインポート・エクスポート機能

開発環境で作成した抽出条件を、本番環境へ速やかに移行するために抽出条件のインポート・エクスポート機能が追加されました。

抽出条件の作成から本番適用がよりスムーズとなり、利用者の業務効率の向上を実現します。



このように、「MyQuery」の抽出結果をすぐにExcelレポートとして利用することや、結果を再加工せずに他システムに連携させることが可能となり、業務効率が向上します。

「MyQuery」にご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

担当者紹介



ビジネスイノベーション事業本部
プロダクト開発部 製品開発グループ
リーダー
大島 新治

システム管理者の会は、システム部門の皆さまを応援していくことを活動の指針として掲げています。例えば、システム管理者認定講座や各種イベントなど人財育成活動や、システム管理者の方に対する「感謝の気持ちを広める」活動を行っています。

今回システム管理者の会では「感謝の気持ちを広める」活動のひとつとして、第9回「NIPPON ITチャリティ駅伝」の協賛スポンサーとして参画しました。【システム管理者感謝の日＝「おつかレー様」】を広めるため、参加しているランナーへの賞品として「レトルトカレー」を提供します。



第9回NIPPON ITチャリティ駅伝
開催概要
開催日：2018年11月18日(日)
会場：お台場シンボルプロムナード
シンボルプロムナード夢の広場



おつかレー様です。
「システム管理者感謝の日」は7月最終金曜日ですが、感謝や表彰の機会は年間を通じてありますよね。そのような機会に、カレーをプレゼントして盛り上がりましょう！

「おつかレー様」活動とは？

システム管理者の労をねぎらう記念日の「システム管理者感謝の日」。毎年7月最終金曜日にあたるこの日には、「いつもありがとう、おつかレー様です。」ということでカレーをプレゼントする日として推進しています。

システム管理者の方にカレーをプレゼントして、一緒に盛り上がりましょう！



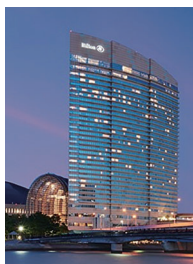
UNIRITAユーザシンポジウム開催決定！

「第36回 UNIRITAユーザシンポジウム」のご案内

開催日：2019年3月7日～9日

今年度も、福岡(ヒルトン福岡シーホーク)での開催が決定しました。福岡での開催は今年度で3回目となります。ユーザのための有益なシンポジウムとなるべくさまざまなコンテンツを用意していますので、皆さま、ぜひご参加ください。

毎年3月に開催している、UNIRITAユーザ会最大のイベントであり、会員相互の情報交換の場として、毎年熱い盛り上がりを見せています。最新のITトレンドやユーザ事例に触れていただくとともに、全国の各研究部会より1年間の研究成果を発表いただき、優秀な活動を表彰しています。



発表いただく研究のテーマは、会員の皆さまからのアンケート回答をもとにシステム運用と情報活用の旬なキーワードや定番のテーマなどから、例年30テーマほど選ばれています。これらの多様な研究テーマについて、年齢、業種ともに異なる研究メンバが集い、1年間研究してきた研究成果の集大成を発表する場となります。

参加メンバは研究発表を通じ、1年間の成果と自身の成長を上司にアピールし、上司の方は部下の成長をその目で確認できる貴重な場でもあります。

11月上旬よりUNIRITAユーザ会ホームページにて受付開始となります。

お申し込み

<http://www.uniritauser.jp/>

「第144回 マネジメント研究会・第46回 中部ITフォーラム合同開催」のご案内

開催日：11月16日

今回は、生活協同組合連合会 東海コープ事業連合様に宅配の受注チャネル構築事例に関するご講演および、東海コープ事業連合様の物流センターであるトランコム株式会社様 小牧ロジスティクスセンターの見学を実施します。

ご講演では、週に1回、食品を中心に注文を受けた商品を決まった曜日・決まった時間に届ける生協の共同購入において、毎週継続して利用いただくためのサイト「e-フレンズ」の取り組み(工夫)をご紹介します。

また、見学では、全国32カ所の情報センター、約13,000社のパートナー企業による国内No.1ネットワークを活用した輸送マッチングサービスと、全国50カ所の物流拠点とパートナー企業のネットワークを活用した配送サービスにより、定期的な輸配送から波動対応まで全国の最適輸配送システムを提供している小牧ロジスティクスセンターの見学となります。

参加人数に限りがあります。興味のある方はぜひご参加ください。

お申し込み

<http://www.uniritauser.jp/event/mg.html>

新任役員よりご挨拶



執行役員
営業本部長 兼 営業部長
兼 パートナリビジネス部長
金子 紀子

この度、執行役員 営業本部長を拝命いたしました金子です。2012年よりパートナービジネスを中心に活動してまいりましたが、営業本部(直販とパートナービジネス)を任されることとなりました。

私は1994年の入社以来(旧ビーコンIT)、開発、カスタマーサービス、マーケティング、そして現在の営業職とさまざまな経験をしてまいりました。

その経験と知識を活かし、ユニリタグループ各社と100社を超えるパートナー企業様との強固な協力体制を構築することで、たくさんのお客様の課題を解決するユニークな提案ができるようなお客様のITコンサルティングを目指します。

女性ならではの視点やコミュニケーション力...という言葉

期待されますが、あまり意識せず、とにかく「ユニリタは楽しそうだね」と言っていただけの元気な組織にしたいと思っています。

私の特徴

- ・愛媛県松山市出身(道後温泉、みかんが有名)
- ・気は強いが酒は弱い
- ・ゴルフはやりませんが上手くない
- ・旅行は行く前の企画が楽しい
- ・最近の好物はえいひれ

こんな私ですが皆さまにお会いできることを心より楽しみにしております。

皆さまのご指導なくしては明るい未来はありません。

今後とも格別のご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

パートナー様
ご紹介

システム開発現場と業務現場をトータルにサポート 超高速開発/ローコード開発「Web Performer」

現在では、ビジネススピードに対応した高品質なシステム構築が求められていますが、実際の開発現場では技術者不足や、スキル・知識不足などが課題になっています。その解決策として、「超高速開発/ローコード開発」というキーワードが脚光を浴びています。

多くのメディアで特集が組まれたり、特化したイベントが開催されたり、ますます注目を浴びている「超高速開発/ローコード開発」ですが、どのようなものかご存知でしょうか？専門の言語によるプログラミングをほとんどすることなくアプリケーションを高速に構築することができるのが「超高速開発/ローコード開発」です。

今回、紹介する「Web Performer」はキヤノンITソリューションズが企画・開発している「超高速開発/ローコード開発」ツールです。2005年に発売を開始し、2018年7月現在、導入社数は累計1,000社を超え、ここ数年は国内シェアNo.1^(※)を誇っています。

「Web Performer」は、Webシステムのプログラム製造のみならず、システム開発で必須なドキュメントの自動生成や、テストの自動化も可能です。生成されるプログラムはピュアなJavaであり、プログラムを稼働させるための有償ランタイムは必要ありません。

「Web Performer」を導入いただいた企業様が具体的にどのような効果を得られているか、お客様事例を3つ紹介いたします。

まずは、JAとびあ浜松様です。Webシステムの構築経験がない中、「Web Performer」を使うことによって、Webシステムをわずか5ヶ月で9個も構築され、「保管文書の電子化」「Excelに依存した集計業務の見直し」などをスピーディーに実現されました。

三井住友海上火災保険様は、IT部門ではない、事業に近いビジネス部門にてアジャイル開発が可能になり、ユーザ発想のシステムを1年で24個も構築されました。取組の好事例が会社全体で共有されるようになり、社内の業務効率化・生産性向上を実現されました。

科研製薬様は、COBOL技術者が他の業務と兼務しながら、1年間で200画面ものJavaのWebシステムを開発。導入したERPにはできる限りカスタマイズやアドオンせず、ERPの基本機能では実現困難な独自要望の業務は、「Web Performer」で外部アプリケーションとして構築することにより、エンドユーザの使い勝手と運用・保守の両方を考慮したシステム移行に成功されました。

その他、多くの導入事例をWebサイトに公開しています。
ぜひ、ご覧ください。

https://www.canon-its.co.jp/products/web_performer/case/

それでは、「Web Performer」がどのような仕組みとなっているか、簡単に紹介いたします。

「Web Performer」は、Webシステムの「基本設計情報」をツールに登録するだけで、プログラムはもちろん、ドキュメントやテストを生成します。「基本設計情報」とは、Webシステムで、どのデータベースの、どの

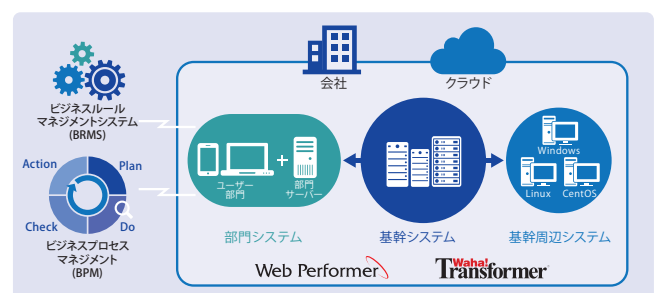
データを扱うのか、どのような画面デザインにしたいのか、どのようなビジネスロジックなのか、といった情報になります。基本設計情報の登録が終わりましたら、「Web Performer」にある「生成」ボタンをクリックすることにより、マルチブラウザ/マルチデバイスに対応したWebシステムを自動生成します。

「Web Performer」を使えば、「プログラミング工程」が「基本設計情報の登録作業」となり、システム開発工数を大幅に短縮することができます。



また、「Web Performer」のWebサービス連携機能を使ってビジネスプロセスマネジメント(BPM)やビジネスルールマネジメントシステム(BRMS)との連携も容易にできます。

さらに、基幹業務では必須の複雑なデータ加工業務をノンプログラミングで構築して高速処理できるETLツールである、ユニリタの「Waha! Transformer」と「Web Performer」を組み合わせることで、オンプレミスでもクラウドでも、あらゆる企業内システムを支えることができます。



お問い合わせ先 キヤノンITソリューションズ株式会社
SIサービス事業部
TEL:03-6741-9181 Mail:wp_info@canon-its.co.jp

(※)株式会社ミック経済研究所「アジャイル開発で注目される 超高速開発ツールの市場動向 2018年度版」 <『設計・コード生成型』ライセンス市場動向より>

UNIRITA

株式会社ユニリタ www.unirita.co.jp

本社 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟 TEL 03-5463-6383
名古屋事業所 〒451-0045 名古屋市中区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル(1B48KTビル) TEL 052-561-6808

ユニリタグループ

株式会社アスペックス / 株式会社ビーティス / 株式会社データ総研
備実必(上海)軟件科技有限公司 / 株式会社ビーエスピーソリューションズ
株式会社ユニ・ランド / 株式会社ユニリタプラス / 株式会社無限